

博士論文の審査結果の要旨

| | | | |
|--|-------------------------|------|---------|
| 専攻 | 保健医療学 | 分野 | 医療福祉経営学 |
| 学籍番号 | 16S3036 | 院生氏名 | 卓 蓮 |
| 通学キャンパス | 東京赤坂キャンパス | | |
| 論文題目 | 高齢者施設の地域別需給バランスの評価と将来予測 | | |
| 審査結果(枠で囲む) | ○合格 | | 不合格 |
| <p><審査結果の要旨></p> <p>1 主論文の概要</p> <p>我が国ではこれまで特別養護老人ホーム等の介護保険3施設以外の、有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅等の地域別ベッド数に関するデータの集計はなされていなかった。今回、介護サービス情報公表システムのデータをもとに地域別のこれら介護保険3施設以外の高齢者ベッドの供給データと需要予測データを組み合わせ、その需給関係の現状と将来推計を行った。</p> <p>結果は、75歳以上人口千人当たりの高齢者ベッド数は全国平均83床±17床で、大都市、地方都市、過疎地域でその平均値は近似しており、ばらつきが小さいことが明らかになった。経年推移をみると、2015年までは需給バランスがとれていた高齢者ベッド数は、2017年以降、需要>供給の傾向に転じ、今後その乖離が拡大していくことが予想された。</p> <p>本研究の新規性は、従来行われていなかった介護保険3施設以外の高齢者居住系施設ベッドの地域別の需給関係とその推移を明らかにした点にある。</p> <p>2 審査経過と結果</p> <p>審査会を1回開催し、本論に関して、以下の指摘が行われた。介護サービス情報公表システムのデータはベッド数情報のみで稼働率情報がないこと、また未届有料老人ホームなどの情報が欠落していること、これらを研究の限界として明記すべき。また本研究の需給バランスは、2016年を基準年とした相対的比較であり、絶対的な需給比較ではないことを明記すべき。</p> <p>その結果、指摘事項について適切な修正が行われた。これをもって審査会の審査員全員として、本論が著者に博士(保健医療学)の学位を授与するに十分なレベルに達しているものと認めた。</p> | | | |
| 論文審査担当者 | 主 査 武藤正樹 | 印 | |
| | 副 査 羽田明浩 | 印 | |
| | 副 査 石川ベンジャミン光一 | 印 | |